

令和6年度静岡県立東部特別支援学校伊東分校

第4回学校運営協議会 議事録

1 日時 令和7年2月7日（金） 午前10時～12時

2 場所 静岡県立東部特別支援学校伊東分校
(〒412-0055 伊東市岡 1270-1)

3 出席者

<運営協議会員> 福西 正美 氏（伊東市立さくら園園長）【コーディネーター】
初鹿野 勲 氏（民生委員第4地区会長）
梅原 基示 氏（湯の花共栄会役員）
稲葉 政秋 氏（伊東分校ゲストティーチャー）
鈴木 絢子 氏（伊東市立伊東小学校PTA）
川口 良 氏（東部特別支援学校伊東分校PTA会長）【欠席】

<学 校> 長崎 良夫（校長）【欠席】
板垣 久（教頭）
田中 智子（小学部主事）
千葉 俊和（中学部主事）

4 日 程 (1) 授業参観
(2) 令和6年度の伊東分校の学校経営計画と教職員評価について
および学校運営協議会員による学校評価について
(3) 質疑応答
(4) 閉会

5 議事内容

(1) 授業参観

国語・算数・自立活動の時間を参観していただいた。

(2) 令和6年度の伊東分校の学校経営計画と教職員評価について
および学校運営協議会員による学校評価について

<守る>安全に配慮され、のびのびと安心して学べる学習環境を整備する

(初鹿野様) 1・2月に町内地区にある河川のパトロールをしている。川が増水して渡れなくなった場合、どう避難するか各家庭に呼び掛けている。泉地区は土砂崩れもある。想定外の災害もある。大雨の場合、1時間もすれば河川が増水が始める。地区で防災対策を様々な場面で想定していきたい。

(梅原様) 伊東市で「私の防災訓練」を発行している。マニュアルに沿って作成すると各家庭のものが出来上がる。学校でも作成してみるとよい。

(鈴木様) 学校だけでなく、市としても施設の老朽化が進んでいる。目視点検だけでなく、年に1回は業者を入れて目の届かないところも点検してもらうのがよい。

(稲葉様) 市(行政)で取り組むことと、学校で取り組むこと区別して計画を立案できるとよい。トイレに防災備蓄品が備えてあったのに感動した。

<育む>高い専門性に基づき、自己実現に向け、個に応じた指導・支援を展開する

(初鹿野様) 子ども達が、タブレット端末など機器に慣れている。どんどん進めていって欲しい。

(梅原様) のびのび子ども達のやる気が出ている。ICT機器を自分の表現方法として使って慣れていって欲しい。新たなやる気も引き出せる。

(稲葉様) 車いすの生徒の成長に感動した。手指を使って行う自立活動において、先生方が工夫されていて感心した。言葉だけでなくイラストも使っていてわかりやすい。トイレにも「自立活動通信」が貼られていて、教員が意識できる掲示も良かった。

(鈴木様) 一人一人の子ども達にあったコミュニケーションを学習している。先生方が子ども達の思いを汲み取って学習活動を行っていて良かった。子ども達が生き生きとしていた。

(福西様) 新しい機器を活用していて素晴らしいと感じた。

<つなぐ>「地域の中で育つ児童生徒、地域の中で役割を果たす学校」を目指す

(初鹿野様) 地域でも、障害を持った方が生活している。いろいろな活動に参加して欲しい。

(梅原様) スクールバスが使えて、行動の幅が広がったと思う。よい機会ととらえ、先生方の創意工夫で、これからもたくさんの人々との交流を深めていって欲しい。

(稲葉様) 伊東市にはハンディキャップを持っている子が多いと思う。高等学校に進んだ後も、支援が必要な生徒もいる。今後も特別支援学校がセンター的機能として、地域とのつながりを深め、サポートする体制が大切であると思う。

(鈴木様) 今年度、学校間交流ができてよかった。小中学校の児童生徒も思いやりの心を育てることができるので、今後も継続してほしい。北中だけでなく、南中、門野中との交流も少しずつ計画してもよいと思う。

(福西様) 子どもが減っている中、特別に支援が必要な園児の数は増加してる。来年度入園希望は14人も申し込みがあった。集団での活動が大切であるので、のびのびと活動できる環境を心がけたい。

<高める>教職員が互いに支えあい高めあい、仕事を通じて自己実現できる環境を作る

(初鹿野様) コンプライアンス遵守ができていないところで不祥事は起こりやすい。個人の意識が大事となる。引き続き研修を行って欲しい。

(稲葉様) 教職員同士の学部を超えたコミュニケーションの場が必要なのではないかと。教職員一人一人の人生を豊かにすることが大切。

(3) 来年度の学校運営協議会員の選出についてお願いをして、閉会とした。